

令和6年11月市議会 総務委員会資料

所管事項調査 長崎平和マラソンについて

〈目次〉

ページ

- | | | |
|---|------------------------------|-----|
| 1 | 長崎平和マラソンの経緯 | 2 |
| 2 | 被爆80周年記念事業としてのハーフマラソンの開催について | 3 |
| 3 | 実施予定のハーフマラソンの概要（案） | 6 |
| 4 | 今後のスケジュール(予定) | 6 |
| | (参考) 令和2年度開催予定時の大会概要及びコース | 7～8 |
| | (参考) 長崎ベイサイドマラソンのコース | 9 |

市民生活部
令和6年11月

1 長崎平和マラソンの経緯

長崎平和マラソンは、被爆75周年の節目を迎える令和2年度に、平和をテーマにフルマラソン大会を開催し、被爆地長崎から国内外に核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向けた強いメッセージを発信するとともに、スポーツの振興や交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげることを目的として開催を予定していた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催目的である平和の発信や交流人口の拡大などの事業効果が著しく低下するとして、開催に向けた取組みを一旦中断し、被爆80周年である令和7年度での開催を新たな目標として検討を進めることとしたところである。

【これまでの経緯等】

- | | |
|---------|-------------------------|
| 平成30年7月 | 長崎平和マラソン実行委員会 設立 |
| 令和2年4月 | 1年程度延期（令和2年3月 ランナー募集開始） |
| 令和2年11月 | 取組み中断 |

2 被爆80周年記念事業としてのハーフマラソンの開催について

令和2年度以降、これまでの経緯等を踏まえ、様々な観点から鋭意検討等を行ってきたが、この間、出島メッセ長崎や長崎スタジアムシティの開業など、長崎市内における施設面の環境が整ってきたことで、様々な行事等の開催が可能となってきたこと、また、その一方で、物価高騰などによる開催経費の増が避けられない状況となってきたことなど、様々な社会状況の変化が生じている。

そのような社会状況等も踏まえ、これまでの経緯や令和2年度開催予定時の大会の趣旨等も鑑み、平和をテーマとするハーフマラソンを被爆80周年記念事業として位置づけて、平和に関する内容を充実させて開催することとし、次のとおり、開催日程が限定されることや経費が大幅に増加することなどの理由により、令和2年度に開催を予定していたフルマラソンではなく、ハーフマラソンとして開催することとしたい。

なお、開催日程やコース設定等の具体的な実施内容については、現在、警察等の関係機関と調整しているところである。

【理由】

（1）開催日程について

マラソンを開催する場合、一般的にその参加者等の人的規模や長時間の交通規制等の影響を鑑みた開催日程の調整等が必要となるが、令和7年度には、長崎県初のピース文化祭が9月中旬から11月末にかけて開催され、それ以外の時期においても、Bリーグオールスターやその他の大規模イベント等の市内開催が予定されていることに加え、他都市でもフルマラソン等の開催が予定されていること等を考慮すると、開催日程の調整等がフルマラソンの場合は限定的になるが、ハーフマラソンの場合は、その規模や交通規制等による影響がフルマラソンより限定的となることなどから、幅広い開催日程の調整等が可能であること。

（2）財政面について

開催経費において、フルマラソンの場合は、当初2億7千万円程度であった総事業費が、物価高騰などの社会状況の変化等により、約4億円程度に増加することが見込まれる一方、ハーフマラソンの場合は、経費の大幅な抑制が見込まれること。

（3）様々な状況の変化

フルマラソンの開催を予定していた令和2年度以降、出島メッセ長崎や長崎スタジアムシティの開業などにより、被爆75周年当時と比較して、多くの平和発信事業の実施が可能となってきていること。

長崎ベイサイドマラソンとの比較（参考）

	長崎平和マラソン (フルマラソン)	長崎ベイサイドマラソン (ハーフマラソン)
総事業費	約399,000千円 (再算定後) (当初事業費 約270,000千円)	約36,000千円 (長崎ベイサイドマラソンR5実績)
募集定員	フルマラソン 10,000人 8.9kmラン 1,000人 2020mラン 1,000人	ハーフマラソン 1,900人 10kmマラソン 1,050人 1.9kmマラソン 定員なし
開催日程	制限される	制限を受けにくい
開催経費	物価高騰等により大幅に増加する	開催経費が抑制できる
交通規制	交通規制が長時間となるため、影響が大きい	交通規制がフルマラソンより短時間となるため、影響が抑えられる
優先エントリー権	付与できる	付与されている方に、理解をいただく必要がある

3 実施予定のハーフマラソンの概要（案）

ハーフマラソンの開催時期・コース等は現在調整中であるが、被爆80周年記念事業として、平和に関する内容を充実させた「平和をテーマとするハーフマラソン」を開催し、被爆地長崎から平和のメッセージを広く発信するもの。

（事業例）

- （1）開催時期 調整中（令和7年秋以降を目途に警察等の関係機関と調整中）
- （2）コース設定 調整中（令和2年度の長崎平和マラソンのコース及び長崎ベイサイドマラソンのコースを参考に、平和公園周辺のコースを含め、警察等の関係機関と調整中）
- （3）その他
 - 例・平和の発信につながるネーミングの検討
 - ・ゲストとして、平和への係わりが深い方などを選定し、平和のメッセージを広くアピール
 - ・メイン会場において、平和に関するイベントの開催やブース・のぼり等の設置
 - ・大会やイベント、メディア露出の拡大等

4 今後のスケジュール(予定)

令和6年12月～令和7年4月	実行委員会での協議
令和7年1月～4月	実施計画策定
令和7年4月～7月	募集要項策定
募集要項策定後	ランナー募集開始



(参考) 令和2年度開催予定時の大会概要

- 1 開催目的 : 被爆75周年の節目を迎える令和2年度に、平和をテーマにフルマラソン大会を開催し、被爆地長崎から国内外に核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向けた強いメッセージを発信するとともに、スポーツの振興や交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげる。
- 2 大会名称 : 長崎平和マラソン
- 3 開催年月日 : 令和2年11月29日(日)
※長崎ベイサイドマラソンの開催月として市民に認知されている11月の日曜日を候補日とし、秋の観光シーズンの終了時期、県民体育祭の開催時期及び連休との重複を考慮し設定。
- 4 競技種目 : フルマラソン、ファンラン
- 5 コース : 平和公園市営陸上競技場前(市道松山町線) スタート・フィニッシュ
【長崎港周回コース】
- 6 スタート時間 : 午前9時(フルマラソン)
- 7 制限時間 : 6時間
- 8 定員 :

フルマラソン	最大10,000人	(8,449人エントリー)	参加料 : 11,000円
8.9kmラン	最大 1,000人	(875人エントリー)	2,500円
2020mラン	最大 1,000人	(423人エントリー)	1,000円 (小中学生)
			2,000円 (高校生以上)
			3,000円 (親子)

(参考) 長崎ベイサイドマラソンのコース

